

「ドンドン語ろう！With社会人（肥後銀行）」 平成31年1月22日 肥後銀行本店 意見交換内容 参加者：10名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>■公共交通機関の改善について 公共交通機関が使いやすくなれば、市民にとってもっと暮らしやすいまちになると思うが、民間企業で勤務する一市民として、できることはあるか。</p>	<p>【市長】 現在、バスの利用者は、昭和40年代のピーク時の約4分の1まで減ってきている。利用者が少ないと採算が合わなくなり、その路線は便数を減らさざるを得なくなる。このような状況をどうにかできないかと、現在バス事業者と話し合いを行っているところである。 例えば、「味1」や「味2」といったバスの行き先の表示は、海外や県外の人などにはわかりにくい。色別やアルファベット別にするなど全社で共通の表示ができればもっと利用しやすくなると思う。 また、バスを待つ間の環境を改善するために、ベンチを置けないバス停には、近くのコンビニエンスストアの中に、バスを待つスペース（バス待ち処）を作ってもらう取組を行っている。このように、他の民間店舗などでも、バスを待つ間は店舗内の椅子に座っていてもいいというような取組が広がっていけばいいなと思っている。 ぜひ皆さんには、職場やお客さんとの会話の中で、バスの活用など交通に関するお話もしていただき、様々なご提案をお寄せいただきたい。</p>	都市建設局	交通政策課
2	<p>■街なかの賑わいづくりについて JR熊本駅や桜町再開発など明るい話題がある一方、中心市街地に訪れる人が少なくなっている中、どのようにまちづくりや賑わいづくりに取り組んでいくのか、市長の考えを聞かせて欲しい。</p>	<p>【市長】 陸の玄関口であるバスターミナルと一体となった拠点開発がきっかけとなり、今まで街なかに出てこなかった人たちが、新しくできる映画館やお店に行ってみるといった外出の機会につながると思う。 街の賑わいは、拠点整備とともに市電やバス網などの地域交通と密接に関係している。熊本市では、地域拠点、生活拠点、中心市街地を結び、そこに都市の機能を誘導していくという立地適正化計画をつくっている。このような計画とマッチングさせて、働く場所、生活の場所、楽しむ場所を結び付けてバランスをとっていくことがまちの発展には大事である。 また、桜町の再開発をすると、上通りや並木坂周辺は人が少なくなるという意見もあるが、桜町から並木坂まで歩くと20分くらいかかる。歩くことは健康にもいいし、アーケードを通れば雨にぬれずに並木坂までいけるというように、点ではなく、面で考えられるようになればいいと思う。単なる開発で終わるのではなく、楽しみや健康づくりとあわせて考えていくことで、継続した賑わいづくりにつながっていくと思う。 熊本城ホールにおいては、エンターテイメントやコンサート、展示会などでも利用できるが、国際会議も開ける施設として利用していきたい。ほかに、（仮称）花畑広場などをどう使うかというデザイン会議（桜町・花畑周辺地区まちづくりマネジメント検討委員会）も行っている。皆さんからも意見やアイデアをご提案いただきたい。</p>	都市建設局 経済観光局	都心活性推進室 新ホールマネジメント課

「ドンドン語ろう！With社会人（肥後銀行）」 平成31年1月22日 肥後銀行本店 意見交換内容 参加者：10名

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>■インターネットを通じた広報について</p> <p>昨年12月に「イルミネーション九州」でネット検索したら、熊本県内は天草以外ヒットしなかった。福岡市はいろいろヒットしたので、結局福岡市のワインフェスティバルに行ったところ、大変賑わっていた。熊本市でも同じイベントがあったが福岡市ほどの賑わいはなかった。今は観光情報などをネットで検索する人が多いが、ネットを通じた広報が熊本市は弱いのではないか。</p>	<p>【市長】</p> <p>おっしゃるとおり。私自身はツイッターをやっている、それが広報にもなると思っているが、発信力はもっと増していかなければならないと思う。肥後銀行にも広報室があるということなので、熊本市の広報をこのようにしたらいいのではないかなどご提案いただけるとありがたい。</p> <p>-----</p> <p>【広報課 追記】</p> <p>ネットを活用した広報については、市の公式ツイッターやLINEなどのSNSを中心にさらに強化していきたい。</p>	<p>経済観光局</p> <p>政策局</p>	<p>観光政策課</p> <p>広報課</p>
4	<p>■公共交通網の整備について</p> <p>北区と東区を結ぶ直通のバス路線をつくることできないか。南北や東西は本数もあると思うが、他の路線はどうか。</p>	<p>【市長】</p> <p>現状として、北区と東区を直結する路線をつくるという話は出ていない。アメリカのシアトルでは、ラピッドライドといって、連結バスを利用したBRT（バス高速輸送システム）を整備したところ、車通勤からバス通勤に変える人が増えたという成功例もある。</p> <p>熊本市でも北から東への直結路線などのニーズが潜在的にはあるかもしれないが、ニーズが多く採算が合うということが確認できれば走らせられないというのが現実。公共交通のマーケティングについてはバス事業者や交通政策課にも話しておく。</p>	<p>都市建設局</p>	<p>交通政策課</p>
5	<p>■熊本市の観光の活性化について</p> <p>以前関西に住んでいたが、遊びに行く場所として、熊本という選択肢は全くなかった。まずは県外の人に熊本の存在に気づいて興味を持ってもらう必要がある。そのきっかけとして、ディズニーランドやUSJほどではなくとも、それに近い規模のテーマパークを誘致すれば熊本市の活性化につながるのではないか。</p>	<p>【市長】</p> <p>テーマパークの誘致というのはなかなか簡単にはできないが、一つのヒントだとは思っている。観光の発信力という意味で熊本は劣っているというのは今の話でも感じた。テーマパークはすぐには難しいが、熊本城の特別公開などをきっかけとして何か他の楽しみにつなげていく必要があると感じている。熊本に来る人はリピーターも多いが、まずは1回来てもらうことが大事。まち全体の魅力を磨いていくと同時に、熊本をアピールする力を考えなければいけないと思う。</p> <p>-----</p> <p>【広報課 追記】</p> <p>首都圏をはじめ県外に対して熊本市のPRを強化する予定であり、熊本市ならではの魅力や優位性を戦略的に発信していく。</p>	<p>経済観光局</p> <p>政策局</p>	<p>観光政策課</p> <p>広報課</p>

「ドンドン語ろう！With社会人（肥後銀行）」 平成31年1月22日 肥後銀行本店 意見交換内容 参加者：10名

No.	ご意見	回答	局	担当課
6	<p>■働く親に対する子育て支援について</p> <p>2人の子供の子育て中であるが、ファミリーサポートセンターの利用枠が少なく、子育て協力して下さる方とのマッチングが難しい。働く親に対して気軽に支援してもらえる仕組みがあれば、働く親の背中を押してもらっていると感じ、安心して仕事ができると思う。</p>	<p>【市長】</p> <p>ファミリーサポートセンターの支援においては、子供を預かる場所を柔軟にしたり、協力会員を増やしてほしいという要望はいただいております、確かにマッチングが難しいのが現状としてある。今、実態アンケートやモニタリングなども実施しているので、それを踏まえてもう少し改善していきたい。</p> <p>また、子どもの年齢が違えばニーズも変わってくると思うので、年代別のきめ細かな支援についても研究している。他に、民間の子育て支援サービスとのマッチングをもう少し幅広く行っていくということも考えられると思う。</p>	健康福祉局	子ども支援課
7	<p>■街なかの緑化について</p> <p>熊本市は、他の都市に比べると街なかの緑が少ない印象を受ける。また、熊本はイベントやまつりなどの開催が局所的であるため、もっと街全体で盛り上げてほしい。</p> <p>例えば、園芸の習い事で公園の花壇も使えるようにすると、行政の費用も手間もかからないと思う。いろんな方が手入れをすることで、街なかに緑が増えてほしい。</p>	<p>【市長】</p> <p>本市では、現在、全国都市緑化フェアの2021年度開催を目指している。都市緑化に向けて、例えば一人一緑化を取り入れるなど、市民の皆さんと一緒に活動ができれば良いと思う。緑化などが好きな方に公共の場所を手入れしていただくなど、何かしら協力していただける仕組みを考え、局所的ではなく街全体で盛り上げていければと思うので、ぜひ皆さんにもご協力をお願いしたい。</p>	都市建設局	公園課
8	<p>■地下水を活用したイメージアップについて</p> <p>熊本の水道水が地下水でまかなわれていることの良さは熊本市民である私たちは良く知っているが、観光客にはわかりづらい資源だと思う。噴水などをモチーフにしたモニュメントがあれば観光資源になるし、水と森のまちということをアピールしやすいのではないかと。</p>	<p>【市長】</p> <p>地下水を視覚的にアピールする方法というのは難しい。熊本市が取水している健軍の湧水地はぜひ皆さんにも見てもらいたいほど湧水量が多いのだが、水源地の映像などを駅前や空港、街なかなどで見てもらえば、きれいな天然地下水が湧いているということを海外や県外の人にもイメージしてもらいやすいと思っている。これから整備する（仮称）花畑広場等や駅前にも、親水空間を作りたいと思っている。</p> <p>他に、地下水のアピールということでは、例えば今は炭酸水を飲む人が多くなったが、熊本の地下水で作った炭酸水を売り出すことなどを考えていくのは面白いかなと思っている。</p>	環境局	水保全課

「ドンドン語ろう！With社会人（肥後銀行）」 平成31年1月22日 肥後銀行本店 意見交換内容 参加者：10名

No.	ご意見	回答	局	担当課
9	<p>■若い労働力の確保について 銀行員の採用担当として、学生さんや企業の人事の方と関わる事が多いが、熊本にはあまり仕事がないという理由で県外へ出ていく学生さんの話をよく聞く。一方で熊本市の企業は学生が来ないと言っている。よく大卒者向けのUIJターンセミナーなどが開催されているがなかなか学生が集まらない。そこで一つ提案だが、小中学生くらいの時期から、まちの中小企業と密接につながる機会や仕組みを取り入れてもらえればと思う。</p>	<p>【市長】 大学生だけでなく、若年層に地元に興味をもってもらうための取組というアイデアはいいと思う。中学校では、ナイストライ事業を通じて、仕事や社会に触れる機会を設けているが、他にも、行員の皆さんこそ地元の中小企業の健全性や経営者の人柄や大手企業に負けないくらいの魅力などを知っていると思うので、そのようなことを客観的に紹介していただくような取組を協力してやっていくということも考えられるなど思った。</p> <p>-----</p> <p>【しごとづくり推進室 追記】 現在、小中学生向けの”地場企業の仕事を通して社会構造を学ぶ”ための仕掛けを検討中であり、電子黒板を活用したWEBライブを中小企業の従業員さんにご出演いただき、一度に多くの生徒が学習でき、かつ、いつでもその動画を見ることが出来るような環境整備まで含めた事業を構築したいと考えている。その学びがあることで、ナイストライ事業で地場企業のさらなる学びが可能となると思っている。</p>	経済観光局	経済政策課（しごとづくり推進室）
10	<p>■国際スポーツ大会の応援について 今年はラグビーとハンドボールの国際スポーツ大会が開催されるが、盛り上がりが少ないと感じている。例えば「地域」や「通り」ごとに応援する国を決めて、街全体で盛り上げるのはいかがだろうか。</p>	<p>【市長】 「地域」や「通り」を国別に分けて応援し盛り上げるのは面白いと思う。実は、昨年の秋に日仏自治体交流会議を開催した際、新市街、下通、上通の皆さんにご協力いただき、たくさんのフランス国旗を通りに掲げたところ、フランスの方々にとっても喜んでいただいた。このようなことで歓迎ムードが出ておもてなしにつながると思う。他にも応援が楽しくなるような仕掛けを考えていきたい。</p> <p>-----</p> <p>【スポーツ振興課 追記】 国際スポーツ大会の開催時に、区役所単位で市民の応援活動（※）の支援を行っていく予定。（※学校観戦・応援と連動し、学校で応援する国を決め、その学校がある地域と一緒に応援したり、機運を盛り上げていく活動）</p>	経済観光局  政策局	スポーツ振興課  国際課

「ドンドン語ろう！With社会人（肥後銀行）」 平成31年1月22日 肥後銀行本店 意見交換内容 参加者：10名

No.	ご意見	回答	局	担当課
11	<p>■新しい切り口での観光政策について                      例えば、熊本城ホールでVR（※）を使うとか、県内では人気漫画「ONE PIECE（ワンピース）」のキャラクターの立像設置の動きがあるなど、今までは単なる娯楽だったものを観光の切り札の一つにするという動きがあるが、他に何か新しい取組について考えがあるか。</p> <p>※バーチャル・リアリティの略。コンピュータでつくられた三次元空間を視覚その他の感覚を通じ疑似体験できるようにしたもの。</p>	<p>【市長】                      私自身は、熊本市を音楽の街にしたいと思っている。全国的に活躍しているミュージシャンの中にも熊本に縁のある方はたくさんいる。今はスマートフォンでも気軽に音楽を楽しんだり他人と共有できたりするが、音楽を通して共通の話題ができ、そこから人とのつながりが広がっていくという良さが音楽にはあると実感している。</p>	経済観光局	観光政策課